

ぎが1だより



夏休み親子市議会体験ツアーを開催しました(7月30日)

※撮影時のみマスクを外しています。

令和4年6月定例会

- 市長の所信表明と主な質疑
- 補欠選挙で新議員誕生
- 一般質問に9人が登壇

羽生市議会のホームページを開設しています。

[羽生市議会](#)

[検索](#)

目次

- 市長の所信表明と
主な質疑・・・2P～3P
- 市政に対する一般質問・・・4P～8P
- 議案に対する質疑・・・9P
- 審議案件と結果・・・11P
- 各常任委員会の経過・・・12P

河田市長の所信表明と主な質疑

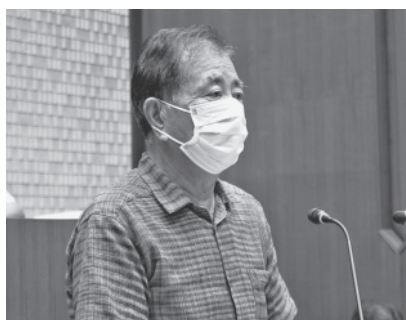
令和4年6月定例市議会は、6月27日から7月12日までの16日間の会期で行われました。今定例会は、市長選挙後初めての定例会であり、市長の所信表明が行われたほか、市長からは、令和4年度羽生市一般会計補正予算など13議案が上程され、いずれも原案のとおり可決、承認、同意されました。市長の所信表明の要旨及び5人の議員によって行われた質疑・答弁は次のとおりです。

所信表明(要旨)

五期目の市政運営の基本方針について、「羽生市の未来への10の施策」の取り組みを進めていく。

①企業誘致を推進し、羽生市の発展を加速させます！

岩瀬土地区画整理地内の商業施設や優良住宅街区・愛藍タウンの区域だけでも、固定資産税が年間約7,000万円が増収となっている。岩瀬土地区画整理事業全体が完成



所信表明を行う河田市長

すれば、年間約4億円の税収増となる見込みである。

②子育て支援を充実させます！

子ども医療費無償の年齢上限を15歳から18歳に拡大する。また、学校給食費について、

物価高騰分の値上がり分を市が負担し、給食費を値上げせず据え置きし、さらに年間の給食提供日数を2日増加する。

③みなさんの命と暮らしを守ります！

次世代型の総合防災システムの整備を開始するとともに、道路冠水解消などの治水対策を推進するため、県が進める中川の拡幅工事や橋りょうの架け替え等について、調整を図っていく。

④のりあいタクシー導入など、高齢者サービスを充実させます！

令和4年10月より、高齢者や障がい者など交通弱者のた

めに、デマンド型のりあいタクシーの実証運行を開始する。また、移動販売を行う事業者に対し補助金を交付し、買い物に不便をきたしている方の利便性の向上につなげていく。

⑤市内の産品を全国にPRし、ふるさと納税を増加させます！

ふるさと納税の令和3年度の受入額は1億4,000万円、県内9位と大健闘している。令和4年度は受入目標額を2億円と定め、返礼品の拡充や積極的な宣伝を行い、取り組みを強化していく。

⑥中心市街地の再生に取り組めます！

羽生駅東口駅前通りの電線の地中化工事を県と協力して実施し、バリアフリー化を進める。また、駅前の民間商業ビルのリニューアル整備や周辺の土地利用について、協議・検討を進めていく。

⑦道路整備を促進します！

県事業として、イオンモール北側の国道125号と122号の重複区間を4車線から6車線に拡幅し、交通の円滑化を図る。

⑧羽生水郷公園周辺を一大観光地にします！

キャッセ羽生は令和5年4月からの指定管理開始に向け、事業者を募集し、民間の集客ノウハウと経営感覚を導入し魅力的な施設に生まれ変わることを期待する。また、チャレンジファーム・24ヘクタールも引き続き意欲のある企業を誘致して、日本最大級の観光農園に作り上げる。

⑨行田市とのごみ処理の広域化を推進します！

ごみ処理施設については、行田市との共同整備に向け、4月に羽生資源環境組合が設立・スタートした。令和6年度建設開始、令和9年度稼働に向け進めている。

⑩羽生インターチェンジ周辺開発など、難事業にも突破口を見出します！

川俣地区の車両基地予定地約12ヘクタールは、東武鉄道と協議し、有効な活用方法を早急に見出していく。また、羽生インター周辺地区の開発は、4年の任期中に民間開発への突破口を見出したい。そして、羽生市の東の玄関口の大きな発展につなげたいと考えている。

齊藤 隆 議員

・主な質疑

子ども医療費の無償対象年齢を18歳まで拡大することについて、関係機関との調整と、具体的実現に向けた計画について伺う。

・答弁

子ども医療費は、埼玉県が主導して令和4年10月から県内現物給付を予定している。現在、埼玉県を通じて、埼玉県の医師会・歯科医師会・薬剤師会（3師会）との協定を進め、国民健康保険団体連合会や社会保険診療報酬支払基金とシステム改修を含めた調整を行なっている。

対象年齢を18歳に拡大する場合も、同様に羽生市の3師会をはじめ、埼玉県及び国民健康保険連合会等の関係機関と改めて調整が必要となる。このため、混乱を招かないよう、県内統一の現物給付が開始され軌道に乗った後、令和5年4月以降なるべく早期に開始できるように対応していきたいと考えている。

野中 一城 議員

・主な質疑

駅前の民間商業ビルのリニューアル整備の取り組みについて伺う。

・答弁

現在、駅前商業ビルは、一部が長期間空き店舗となり、利用が十分に図られない状況になっている。老朽化も進行していることから、所有者である東武運輸はこの建物を近い将来解体し、新たな利活用を検討したいとの意向がある。民間の所有地であるため、

今後、東武運輸及び東武鉄道の意向を尊重しつつ、公益性・公益性の視点から市として、市の玄関口に位置する駅前商業ビルの立地条件を最大限に活かした施策を提案していきたいと考えている。

峯寄 貴生 議員

・主な質疑

市内の観光施設などをネットワーク化し、羽生市の魅力を発信していくとあるが、具体的なイメージについて伺う。

・答弁

羽生インターチェンジ近くにある「羽生水郷公園」や「キヤッセ羽生」、新たな農業の取り組みとして整備が進んでいる「羽生チャレンジファーム」のあるエリアでは、施設と市が連携し、各施設を自由に巡り「遊ぶ・食べる・体験する」など一体となったイベント開催に取り組んでいる。また、利根川沿いにはグライダーも楽しめる「スカイスポーツ公園」や地域の歴史を伝える貴重な「永明寺古墳」がある。訪れる方にそれぞれの観光資源の魅力をあわせて楽しめるよう、市内の観光施設や観光サービスなどをネットワーク化し、その観光情報を効果的に発信して、観光と経済の活性化につなげていきたいと考えている。

柳沢 暁 議員

・主な質疑

行田市とのごみ処理施設の共同整備について、環境に配慮した最新の施設とはどのような施設か伺う。

・答弁

新ごみ処理施設は、「行田羽生資源環境組合」を令和4年4月1日に設立し、施設整備に向け本格的に取り組みを始めている。今後、組合にて施設整備基本計画の策定や生活環境影響調査などを実施し、施設規模や環境保全計画を含めた事業内容を決定していく予定である。長期にわたり使用する施設のため、環境に十分な配慮を行うことが重要と考えている。そのため、施設からの排ガス・排水処理、騒音・振動、悪臭などへの環境対策を施し、ごみ処理に伴い発生する熱を有効利用し発電に生かすことなども考えている。環境負荷に配慮し、最小の経費で最大限の効果を発揮できる施設ができるよう取り組んでいく予定である。

齊藤 万紀子 議員

・主な質疑

のりあいタクシーについて、市民への周知方法と、見込んでいる利用人数を伺う。

・答弁

広報誌・ホームページにて、のりあいタクシーの利用内容に関する記事を掲載し周知している。また、利用対象者である羽生市在住の75歳以上の方と障害者手帳をお持ちの方、約1万人に利用案内を郵送する予定である。その他、各公民館での高齢者大学や民生委員・児童委員協議会の会議、いきいき百歳体操会場などへ出向き説明していく予定である。

見込み利用人数は、のりあいタクシーを導入している近隣市の状況から、利用対象者約1万人の内、約2,500人が登録するものと想定し、今後の運行台数（3台）や運行時間（平日、8時～17時）などの運行状況から、年間延べ約4,000人の利用を見込んでいる。

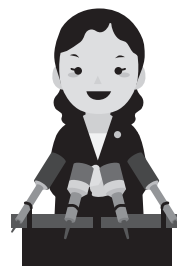


羽生駅東口

市政に 対する

一般質問

そこが… 聞きたい



一般質問は、提出議案以外で市政全般にわたる事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に問うものです。今期定例会では、7月4日から6日の3日間にわたり9人の議員によって行われました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。
※QRコードを読み取ると、議会中継をご覧いただけます。

男性トイレ個室にサニタリーボックスの設置を



野中一城 議員

- ・質問 病気等が原因で尿漏れパッドを着用する方が増えており、男性トイレ個室にサニタリーボックス(汚物入れ)を設置する動きが広がっている。本市でも設置に向けた対策を講じる必要があると考える。そこで、次の点について伺う。
- ①本市公共施設における設置状況について
- ②県内の取組状況について
- ③本市の設置に向けた見解について

・答弁(企画財務部長)

①多くの方が利用する公共施設60か所のうち、男性が利用できる多目的トイレに設置されていたのは25か所、男性用個室トイレに設置されていた



市庁舎トイレに設置されたサニタリーボックス

のは4か所であった。
②本市を除く、県内39市におけるサニタリーボックスの設置状況について調査した結果、加須市を含む21市においては、市庁舎など公共施設の男子トイレに設置されている。

そのほか、今後設置を予定している、また検討している市は、熊谷市など16市、未定が2市であった。

また、男性用トイレにサニタリーボックスを設置した経緯を確認したところ、新聞報道や市民相談からの気づきや、議会での問題提起を受けて、設置する動きが広がっている状況があった。

③男性用トイレ個室へのサニタリーボックスの設置については、公共施設の管理者として、市民が安心して施設を利用できるよう、きめ細やかな配慮が必要と考えている。

そのため、市としては、前立腺がんや膀胱がんの治療後の生活で尿漏れパッドが必要な方や、加齢により尿漏れパッドが欠かせない方が安心して来庁していただけるよう、男性用トイレに尿漏れパッド等を処理するサニタリーボックスを設置していきたいと考えている。まずは、市庁舎に設置し、その後順次、他の施設への拡大を予定している。

その他の質問

・外国人のゴミの出し方に対する取組は

新議員の紹介



田口 聡 議員

5月29日執行羽生市議会議員補欠選挙において、田口 聡氏が当選されました。

本会議において紹介の後、次のとおり議席の指定、常任委員の選任が行われました。

○田口 聡 議員

議席番号

・ 1番

常任委員会

・ 都市民生委員会

危険な交差点、

踏切の改善を



柳沢 暁 議員

●質問 危険な交差点等の改善を求める声が多数ある。そこで、次の点について伺う。

- ①須影小学校北側交差点の改善について
- ②西中学校北側交差点への信号機設置に向けた検討状況について
- ③南中学校北西の踏切と五差路の改善予定について

●答弁(まちづくり部長)

①この交差点は、通過交通車両が多く、かつ通学路に指定されている。また、県道に交差する市道は、交差点付近での車両同士のスムーズなすれ違いが難しく、特に通勤時間帯は渋滞が発生している。今

後の対策としては、まずは交差点周辺の調査測量などを実施して、交差点改良に必要な用地確保や関係機関との協議を進め、実現に向けて取り組んでいきたい。

②羽生警察署との協議では、現状、信号柱を設置する場所や、信号待ちの歩行者のためりスペースが不足しているなど、信号の設置基準を満たしていないとのことである。その基準を満たすためには、交差点改良工事が解決策となるが、多額の費用が見込まれる



須影小学校北側交差点

事業となる。しかし、長期的な課題と捉え、今後も検討を継続していきたい。

③踏切改良は、先に踏切前後の道路拡幅事業を行う必要がある。岩瀬土地区画整理事業

で道路拡幅を行う計画であるが、施行時期は明確になっていない。また、五差路については、土地区画整理事業の中で交差点形状を十字路にする計画となっている。市としても、東武鉄道や警察、土地区画整理組合と連携を図り、土地区画整理事業の進捗状況にあわせて安全な踏切、交差点形状となるように取り組んでいきたい。

その他の質問

・生活困窮者への支援を

水田を活用した洪水防止機能 (田んぼダム) 導入を



江原 博之 議員

●質問 田んぼダムとは、田んぼが元々持っている水を貯める機能を利用し、大雨時に田んぼに一時的に雨水を貯めることで、排水路や河川への流出を抑制し、洪水被害を軽減する取組である。水田地帯である本市の特徴を活かして田んぼダムを導入すれば、本

市はもとより下流の地域にも効果が期待できると考える。そこで、次の点について伺う。

- ①導入の効果について
 - ②導入の課題について
 - ③導入の可能性について
- 答弁(まちづくり部長)
- ①田んぼダムは、水田の既存排水口に排水量を調整する板

などを設置することにより、大雨が降った際に雨水を水田に一時的に貯留させる。このことで、急激な雨水の流出を抑制し、下流での浸水被害を



軽減させる効果がある。水田面積が4割近くを占める本市において、治水対策として有効な方策の一つであると考えている。

②営農者としては、稲の育成に支障が出ないように、早く水田の水位を下げたいと希望されるのではないかとと思われる。また、洪水抑制機能の役割を理解した上で導入した場合には、下流の浸水被害の状況による排水時期を調整するための維持管理が必要となる。具体的には、排水口の改修や

管理について協力をお願いすることになる。さらに、洪水対策としての効果が望めるということだけで、営農者の理解、協力が得られるものではないと考えている。

③田んぼダムの導入にあたっては、多くの課題がある。しかし、新潟県のほか埼玉県内でも田んぼダムに取り組んでいる自治体がある。今後は、それらの動向を注視し、現場における実際の有効性や実態等を調査研究していきたいと考えている。

投票率向上の取り組みは



齊藤 万紀子 議員

●質問 5月29日執行の市長選挙の投票率が過去最低となった。そこで、次の点を伺う。

- ①投票率に関する検証
- ②投票しやすい環境の整備
- ③若者の投票率向上の取組
- ④令和5年統一地方選挙の投票率の目標値

●答弁 (選挙管理委員長)

①投票率は、その時々々の社会情勢や政治的関心など様々な要因が影響することから、投票率が低かったことの要因を特定することは困難である。一方で、期日前投票者の20代以下の割合は7・3%にとどまり、投票者全体で見ても、同様の傾向になると推測され

る。今後、若い世代にどのよう働きかけていくのが有効か、様々な事例を研究し検討することが必要である。

②投票率の向上が期待される共通投票所の設置は、既存の投票所と同時に開設されることから、二重投票を防止するための専用回線の敷設などが必要となる。今後は、専用回線が構築されている公民館などで期日前投票所の増設の対応が可能であるか検討を行うなど、総合的に判断したい。また、障がいのある方への配

慮については、各投票所において対応策を講じているが、当日の投票所が投票しにくい場合は、駐車場も広く、比較的投票もしやすい期日前投票所を利用していただきたいと考えている。



③当委員会では、市内にある高校や大学等に在籍する生徒、学生向けに選挙に関する講座などを実施している。そうした機会をきっかけに、若者から意見やアイデアをいただき、今後の啓発活動に繋げていきたいと考えている。

④当委員会としては、前回の投票率を上回ることを目標としたいと考えている。

その他の質問

・羽生市におけるICT教育の現状と課題は

東武鉄道車両基地 予定地の開発は



田口 聡 議員

●質問 川俣地区の東武鉄道車両基地予定地は、20年以上放置されたままであり、一切開発に向けた動きが見られない。そこで、次の点について伺う。

- ①4年前の市長所信表明演説からの進捗状況及び成果について
- ②同地の利用計画について、市からの提案は可能か
- ③今後の進め方について

●答弁 (まちづくり部長)

①今日までの4年間に東武鉄道、本市ともに管理職を含む複数の担当課の職員が出席して18回の協議を行なっている。また、協議内容によっては、

埼玉県加須農林振興センター等の職員も加わっている。県との協議では、計画変更するにあたり、必要性、公共公益性、全体的なまちづくりを示すことが必要になるとのアド



東武鉄道車両基地予定地

バイスがあった。

②市としては、同地が東武鉄道の所有地であることから、土地利用計画については、所有者の事業採算性や自主的な創意工夫を最大限尊重しなければならぬと考えている。しかし、県からアドバイスのあった、公共性や公益性の視点での提案は、市が行うことは可能であると考えており、今後の協議でも提案・助言を行なっていきたいと考えている。

③市としては、第6次羽生市

総合振興計画の土地利用構想に指定されている工業系・流通系の土地利用を検討していきたいと考えている。また、住宅地の開発は、東武鉄道が市場ニーズや経営上の見込みがあると判断する可能性もあり、提案は可能であると考えている。同地をどのようにに活用していくかは、今後の本市の将来に大きく影響を与えることになるため、引き続き積極的に東武鉄道や県と協議を重ねていきたいと考えている。

公民館の更なる活用を

にしやま たけよし
西山 文由 議員



・質問 公民館は、単に生涯学習、地域活動の拠点施設として有効活用を図ることだけでは

ない。小学校の再編成が検討されている中、小学校が無くなったとしても、その施設の活用方針があり、丁寧な説明をすれば地域住民も納得するものと思われる。そこで、

次の点を伺う。

- ① 公民館をもっと多様に活用するためのコミュニティセンター化について
 - ② 公民館運営の民間委託について
 - ③ 閉校となった学校へ公民館機能を移転することについて
- ・答弁 (生涯学習部長)

学校における「いじめ問題」等のトラブルに対応する 第三者機関としての「スクールアドバイザー」の設置 の可能性は



ますだ としお
増田 敏雄 議員

・質問 学校におけるいじめ問題に関し、児童・生徒の保護者との関係がこじれた場合、中立の立場で介入し、解決・改善に向けて協力する第三者機関(スクールアドバイザー)

が必要と考えている教育委員会職員、教職員の割合が87・4%に上ることが分かった。

近年、新任校長は若年化の傾向にあり、第三者的な立場からの助言が必要であることから、スクールアドバイザーの設置の見解について伺う。

・答弁 (学校教育部長)
羽生市では、いじめ問題への早期発見・早期対応のため大きく次の7つの体制を整



えている。
① スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを設置し、全ての学校にローテーションで訪問・支援する体制を整えている。

り、今まで主に利用していた公民館登録団体・サークル等の活動時間等に影響が生じるほか、学習環境に影響が生じる可能性が考えられる。



公民館駐車場を利用した販売事業

② 公民館での生涯学習事業をこれまで同様に公民館職員が主体となり実施し、地域協議会に運営委託が可能な業務としては、窓口・受付業務や貸館業務、公民館の自主事業の企画などが想定される。

③ 市内の小中学校の多くは、指定避難所となっており、閉校となった場合でも地域の防災拠点として当面、避難所としての機能は残す予定となっている。活用方法については、公民館機能の移転も有効利用のひとつであると考えている。

② 教育相談員を中学校全てに配置し、教育相談室で生徒が気軽に悩みや不安などを相談できるようにしている。
③ 第三者機関としての「いじめ問題調査審議会」を設置している。

④ いじめ解決に向けたサポートチームを編成できる体制を整えている。
⑤ 会議・研修会を通して、教職員の資質能力の向上を図っている。
⑥ 羽生市の顧問弁護士を活用し、法律に基づいた対応を求

められる場合、専門的な助言及び指導を受けられるようにしている。
⑦ 学校で発生する諸問題に対して、埼玉県教育委員会のスクールロイヤー制度を活用できるようにしている。

これらの体制を活用することで対応していきたいと考えている。
その他の質問
・羽生市として、ヤングケアラに特化した条例制定の可能性は

上下水道の広域化は



峯寄 貴生 議員
みねさき たかお

・質問 全国的に上下水道を取り巻く経営環境は人口減少や施設・管路の老朽化等に伴い、より厳しさを増している。こうした中、市民生活に必要な不可欠なライフラインとして持続的な経営を確保していくためには、効率的な経営基盤の強化が必要となる。羽生市

の上下水道も老朽化しており、今後莫大な更新費用がかかることが予測される。また、国や県では広域化を推進していく方向性である。そこで、上下水道施設更新の今後の対策、そして広域化についての見解を伺う。

・答弁 (まちづくり部長)

大災害時における受援体制の強化を図るために



齊藤 隆 議員
さいとう たかし

・質問 次の点について伺う。
①受援の課題解決のため、受援班・受援担当の設置をするべきと考えるが、見解について

②今日の羽生市地域防災計画に示された受援計画・災害応援計画では不十分であり、国の災害受援体制に関するガイ

・答弁 (総務部長)

①災害対策本部組織は、10部・26班で構成され、任務内容を規定しているものの、受援班や受援担当は位置付けら

水道事業では、令和3年3月に策定した「羽生市水道ビジョン」において、浄水場の大規模改修や管路の耐震化などに、今後10年間で事業費が約60億円必要となる。現在でも、第1・第2浄水場とも老朽化により緊急的な修繕は頻繁に行わざるを得ない状態であり、大規模な改修工事を計画的に実施しなければならぬ時期が来ている。

水道広域化については、埼玉県が令和4年度中に経営統合や施設の共同設置、事務の



漏水した水道管の修繕工事

広域的処理を含めた「水道広域化推進プラン」を策定することになっており、羽生市でも同プランを受けて、今後の広域化について研究・検討していきたいと考えている。

下水道事業では、「下水道ストックマネジメント計画」において、令和6年度までに約13億円をかけて処理施設の計画的な改築・更新工事を行う予定となっている。

下水道広域化については、流域処理は技術的に困難であるため、現段階では施設の統合による広域化の予定はない。しかしながら、下水道事業推進協議会に参加し、課題解決のための研究や意見交換を行い、地域間の連携を図ってみたいと考えている。

れていない状況である。大規模災害発生の場合、羽生市が被災した場合、災害対策基本法による応援、民間企業やNPO法人、ボランティア

「受援」とは、災害時に、他の地方公共団体や指定行政機関、指定公共機関、民間企業、NPOやボランティアなどの各種団体から、人的・物的資源などの支援・提供を受け、効果的に活用すること

などからの様々な応援の申出により、多種多様な人的・物的資源が提供されることが想定される。その受援・応援について混乱を最小限に留め、資源を有効に活用するためにあらかじめ災害対策本部に受援に関する担当を位置付けておくことは、有効であると考え、受援班や受援担当などの設置について、積極的に検討していく。

②令和4年度に地域防災計画の全面見直しを予定していることから、大災害時における

受援体制を実効性のあるものとするため、地域防災計画の見直しにあわせて、「地方公共団体のための災害時受援体制に関するガイドライン」や「市町村のための人的応援の受入れに関する受援計画作成の手引き」等を参考に、受援班等の設置を含め、受援・応援について、見直しを行う考えである。

その他の質問

・文化財の保存及び活用の取り組み強化のために

議案に対する質疑

「議案に対する質疑」は、議会に上程された議案について、質疑を行うことであり、賛否の意思決定をするため議案の提出者に対し説明や考えを求めるものです。
今期定例会では、次の議員によって行われました。

○議案第33号 令和4年度
羽生市一般会計補正予算
(第3号)

江原博之 議員
えはらひろゆき

道路維持修繕工事は、生活環境改善事業として、劣化の激しい生活道路の舗装打ち換え工事等を行うもの。

・質疑 工事の件数と内容について

・答弁(まちづくり部長)

地域の生活道路が著しく痛んでいる箇所について、5地区(上岩瀬・小松・稲子・藤井下組・弥勒)の舗装補修工事を行う予定である。

・質疑 同様な道路は全て改善するのか

・答弁(まちづくり部長)

生活道路の整備は自治会単位での要望を受けて、地区



施設園芸燃料高騰対策事業は、原油価格高騰の影響により、燃料費負担が増加した市内施設園芸農家の事業継続を支援するもの。

・質疑 申請方法及び補助金交付に至る手順について

・答弁(経済環境部長)

8月1日から9月30日までの受付期間に、市へ交付申請書と提出書類(燃料の購入量や購入金額がわかる書類の写し、農産物販売額が年間50万円以上であることがわかる書類の写しなど)の提出が必要である。農政課で確認を行い、順次交付を行う予定である。

・質疑 燃料費高騰における負担の増加の状況調査について

・答弁(経済環境部長)

羽生市野菜組合事務局や野菜組合以外の施設園芸農家に施設暖房用燃料について聞き取り調査を実施している。A重油の販売単価の動向を確認したところ、1リットル当たり前年度より平均28円の値上がりをしてしている。

斉藤 隆 議員
さいとう たかし

峯寄 貴生 議員
みねぎ たかお

斉藤 万紀子 議員
さいとう まきこ

公立保育所再編事業とは、公共施設個別施設計画に基づき、第六保育所及び第七保育所を集約・新設するもの。

・質疑 事業概要、スケジュールおよび事業実施に伴う市民説明について

・答弁(市民福祉部長)

公共施設の再編を進めるため、第六保育所及び第七保育所を集約して、定員65名、約600平方メートルの保育所を新設するもの。令和4年度に用地を取得、令和5年度に土地の造成工事を実施、令和6年度に建物を建設、令和7年4月1日の開設を目指している。市民説明については、現在利用している保育所が集約され新設されることについて、第六保育所、第七保育所の全保護者向けの説明会を本年4月に行なっている。

・質疑 第六保育所及び第七保育所の跡地の活用について

・答弁(市民福祉部長)

跡地活用については、新設保育所の進捗にあわせ検討していきたいと考えている。

原油価格・物価高騰への対策として、学校給食費の支援を行うもの。

・質疑 学校給食費の据え置きについて

・答弁(学校教育部長)

食材高騰分について、新型コロナウイルス感染症対応地方創成臨時交付金を活用し、市が値上がり分を負担し、令和5年3月分まで学校給食費を据え置きする予定である。安全・安心の学校給食の推進の観点から、食材の調達については地場産物や国産物等の使用を積極的に検討し、これまでどおり栄養バランス及び質や量を保った学校給食としていきたいと考えている。

・質疑 学校給食費の日数増加について

・答弁(学校教育部長)

令和4年度の年間給食提供日数を185日から187日へ2日間増加する予定である。今後も物価上昇が想定されることから、社会情勢等に鑑み、給食の提供日数を検討していきたいと考えている。

全国市議会議長会表彰

去る5月25日に開催された全国市議会議長会定期総会において、本市議会から議員15年の永年表彰として、島村勉議員及び保泉和正議員が表彰されました。

政務活動費運用指針の策定に併せて、政務活動費の交付に関する条例を改正

今期定例会において、議員提出議案として上程された「羽生市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例」が、全員賛成で可決されました。

羽生市議会では政務活動費について、より適正な執行を図ることを目的に、支出に当たっての判断基準として、運用指針を策定しました。

今回の同条例の一部改正では、同運用指針策定時の検討において、政務活動費を充てることができる経費の項目のうち、人件費及び事務所費については、羽生市議会では、今後も明らかに支出することはない項目であるとの結論に至り、同項目を削除するものとなりました。

加須市・羽生市水防事務組合議会議員の補欠選挙

加須市・羽生市水防事務組合は、本市及び加須市で組織し、利根川及び渡良瀬川の水防に関する事務を共同で取り組んでいる特別地方公共団体です。

この水防事務組合議会議員の欠員に伴い、本会議において選挙を行いました。

その結果、次の方が当選されました。

▽同組合同規約第6条ただし書きの規定による議員
大谷 靖氏

傍聴について

本会議は、市役所5階で受付をしていただければ、どなたでも傍聴（60席）できます。

また、常任委員会（午前9時30分開会）の傍聴（6席）も実施しておりますので、開催日等をご確認のうえ、開会前にお越しください。

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。

9月定例会市議会の日程

9月定例会市議会は、左記のような日程で予定されています。

月日	曜日	時刻	内容
8月31日	水	午前9時30分	本会議初日（開会）
9月1日	木		議案調査等のため休会
9月6日	火		
9月7日	水	午前9時30分	本会議（議案に対する質疑）
9月8日	木	午前9時30分	本会議（市政に対する一般質問）
9月9日	金	午前9時30分	本会議（市政に対する一般質問）
9月10日	土		休日のため休会
9月11日	日		
9月12日	月	午前9時30分	本会議（市政に対する一般質問）
9月13日	火	午前9時30分	各常任委員会
9月14日	水	午前9時30分	各常任委員会
9月15日	木	午前9時30分	各常任委員会
9月16日	金	午前9時30分	各常任委員会
9月17日	土		事務整理等のため休会
9月26日	月		
9月27日	火	午前9時30分	本会議最終日（閉会）

※9月定例会市議会の日程は、8月29日（月）に開催予定の議会運営委員会で決まりますので、変更になる場合もあります。

ポートルース戸田

羽生市を含む県内15市で構成する都市競艇組合の収益金の一部は、毎年構成各市に交付され、市民の皆様の暮らしに役立っています。

開催日

- 8月19日（金）～23日（火）
「アサヒスーパードライカップ」（戸田）
- 9月1日（木）～4日（日）
「マンズリーBOATRACE杯」（戸田）
- 9月16日（金）～19日（月・祝）
「戸田巧者No.1決定戦・マクール杯」（戸田）
- 9月23日（金・祝）～26日（月）
「第1回漫画アクションカップ」（都市）

会場

- ポートルース戸田（戸田競艇場）
- ※都市：埼玉県都市ポートルース企業団主催
- ※戸田：戸田競艇企業団主催
- ◎本場発売等についての詳細は、ポートルース戸田オフィシャルサイト等でご確認ください。

6月定例会 審議案件と結果

●議決結果の公表について

議会改革の一環として、「市民に明確な意思表示をする」という目的のもと、議員自らの考えを分かりやすく市民に示す手段のひとつとして、各議員の表決結果を掲載しています。

公成会…公成 拓政会…拓政 令和会…令和 公明党…公明 日本共産党…共産 無党派…無派

【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除】

Table with columns for 議案番号, 議案名, and 13 political groups (公成, 拓政, 令和, 公明, 共産, 無派, etc.), and a 結果 column.

議員提出議案

Table for 議員提出議案 with 1 row: 議第2号 羽生市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例

※鳥村勉議長は表決に加わりません。

市長提出議案

Table for 市長提出議案 with 13 rows (第27号 to 第39号) and 13 political groups.

議長は表決に加わりません。

羽生市議会のライブ中継と録画配信をしています。

羽生市議会

検索

こちらのQRコードからもアクセスできます。



「羽生市ぎかいだより」は、毎年4回開催される定例会ごと... 内容は、羽生市議会ホームページをご覧ください。

議会の詳細は市議会ホームページをどうぞ

各常任委員会の経過

総務文教

委員会に付託された案件は、議案3件でした。

議案第33号令和4年度羽生市一般会計補正予算第3号の審査では、農業費において「農業委員会情報収集業務効率化支援として、農業委員会にタブレット端末を導入するとのことであるが、具体的な活用内容について何う。」との質疑に対して「農地に係る効率的な意向調査のほか、農業委員会が行う農地利用状況調査、いわゆる農地パトロールなどの現地確認等に活用していくものである。農地パトロールにおいては、現在位置や農地の場所が明確に分かるため、調査に伴う時間や労力が大幅に削減され、調査の結果もその場で簡単に記録ができ、記載ミス等が減るものと期待している。導入直後は、操作研

修や現地サポートなどの支援を行いたいと考えている。」との答弁がありました。

また、「施設園芸燃料高騰

対策補助金の対象農家数を40戸とした理由について何う。」との質疑に対して「原油価格

高騰の影響により燃料費負担が増加した市内施設園芸農家

の事業継承を支援するもので、40戸の内訳は、羽生市野菜組

合に加入している方が22名、市で把握しているイチゴやト

マト、花などを栽培している方が6名。そのほか、市では

把握していない施設園芸農家の申請を想定して40名として



審査結果を報告する峰寄委員長

いる。」との答弁がありました。委員会では、これらの審査の結果、付託議案3件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

都市民生

委員会に付託された案件は、議案2件でした。

議案第33号令和4年度羽生市一般会計補正予算第3号の

審査では、民生費・公立保育所再編事業において「第六・

第七保育所を集約し、令和7年4月に新たな保育所を設置

するに際し、0歳児、1歳児保育を実施するの如何う。」

との質疑に対して、「0歳児は4名、1歳児は8名を受け

入れる予定である。」との答弁がありました。

また、土木費において「公

開型地理情報システム導入にあたり、これまでの窓口の対応は年間何件くらいあったの

か何う。」との質疑に対し、「窓口では1日5件から10件程度、

年間になると数百件の調査対応を行なっている。」との答

弁がありました。

次は、議案第34号令和4年度介護保険特別会計補正予算

第1号の審査では、「地域包括支援センター業務委託につ

いて、プロポーザル方式で事業者を募集し、選定すること

であるが、現在3か所の地域包括支援センターは業務

開始当初から同じ事業者に委託しているが、変わる可能性

はあるのか何う。」との質疑

に対して、「3つのそれぞれ



審査結果を報告する松本委員長

6月定例市議会傍聴者数

6月27日	4人
7月4日	8人
5日	17人
6日	10人
12日	0人
計	39人でした。

常任委員会傍聴者数

7月7日	0人
計	0人でした。

《議会広報委員会》

委員長	島村 勉
副委員長	野中 一城
委員	斉藤 隆
委員	峯 貴生
委員	松本 敏夫

ご意見などを
議会広報委員会まで

☎048(561)1121
(内線) 513

